

令和8年4月 上市町教育委員会 定例会 議事録

日 時 令和8年4月20日(月) 午前9時00分～午前9時51分

場 所 上市町役場2階 第1会議室

1 開会

2 教育長の報告

今年度より教育委員会は教育課と学校建設室という体制となり、今後、義務教育学校の建設に向け準備を進めていく。後ほど詳細を説明するが、義務教育学校の開校が基本計画より早まる可能性が出てきた。

4月1日に公民館職員の辞令交付を行い、白萩南部公民館の館長が交代となった。また、小中学校の新規採用教員は4名、内1名は経験者である。

白萩西部、陽南との統合により、上市中央小は全学年が2学級となった。

4 議事

(1) 公民館運営審議会委員委嘱の件

(教育長)

運営審議会委員の定数は決まっているのか。

(事務局)

条例では7名以内となっているが、主事常勤の公民館は5名、それ以外は3名で運用している。

(委員)

審議会の年間での開催回数は。

(事務局)

概ね、年2回程度である。

— 承認 —

(2) 上市町義務教育学校整備事業実施方針(案)について

(事務局)

これまで絵本室を複合施設として併設することで説明をしてきたが、今後の町立図書館との運営の一体化などの点から、児童書を集約し、こども図書館とする方針となった。

事業方式については、PFI手法(BTO方式又はDBO方式としており、財政部局と協議中であり、6月には方針を定めることとしている。

事業スケジュールについては、校舎建設場所の見直し等により、基本計画より1年9か月短縮の見込みであり、令和13年9月に先に中学校が共用を開始し、令和14年4月に義務教育学校開校の予定としている。

(委員)

建設費について、現状、資材確保も含め厳しい状況にあるが。

(事務局)

基本計画の後、見直した時点で総額105億円としていたが、今回の調査で物価で

10%以上、人件費8.6%上昇があるとのことから、延床面積の見直しも行った上で、6月に公表していく予定としている。また、文部科学省以外の省庁の補助金も活用し、町の一般財源を抑えていきたい。

(委員)

こども図書館について、これまでの学校図書館の利用頻度は。

(委員)

学校図書館は現状では2階に位置し、利用しにくい環境にもあったと思われるが。

(事務局)

現状、低学年の利用が多く、学年が上がるに従って頻度は落ちている。新たな義務教育学校での学校図書館は、1階に位置し、こども図書館と併設する予定としており、メディールームとの共用のほか、各教室の前に図書を配置するコーナーを設けるなど工夫することで子どもたちが図書に触れる機会を増やしていきたい。

(委員)

電子図書などの導入も考えているのか。

(事務局)

教科書のデジタル化も同様であるが、紙とのハイブリッド型を考えている。できるだけ手に取り、選ぶということを大切にしたいが、授業で使用するには電子図書が有効とも考えている。

(委員)

タブレットを使用する年齢、学年を考える必要があるのではないか。

(委員)

こども図書館と合わせ、隣接して公園などを整備し、入学前の子どもたちが保護者と一緒に訪れ、遊べる環境があれば良いのではないか。

(事務局)

今年度から中学校敷地周りの道路の拡幅工事を進めていく。この中で歩道整備も行い、安全に通学できる環境と合わせ、地域の方が周遊していただけるような環境づくりを進めていきたいと考えている。また新たに公園を整備するのではなく、校庭を公園化することで子どもたちが遊べる環境を作っていきたい。

5 報告・その他

(1) 上市町教育委員会事務管理執行状況等点検評価報告書について

(事務局)

点検評価を行っていただく外部有識経験者が交代となり、新たに富山大学教育学部の和田充紀教授にお願いをしている。専門分野は特別支援教育である。

(2) 令和8年度学校訪問の日程について

(3) 令和8年度教育委員会事務分掌について

(事務局)

今年度、教育委員会事務局は教育課と学校建設室の2体制となった。また、放課後事業については、部活動の地域展開との関連から、生涯学習班から生涯スポーツ班に事務分掌を移行した

(4) 令和8年度上市町小中学校一覧表・学級担任名簿等について

(5) 令和8年度公民館職員名簿について

6 閉会